



# 学校だより

令和6年4月30日

No. 2 5月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## わかばのころ

校長 小澤 孝之

桜の花びらもあつという間に散り、校長室から外を眺めても、校庭のポプラの木を始め、木々や草花の新緑が目に入ります。4月が終わり、5月が始まります。



先日は、1年生を迎える会が体育館で行われました。子どもたちが学年ごと担当し、学校や先生の紹介を劇やクイズ、インタビューなどで行いました。また、2年生からはアサガオの種がプレゼントされ、今年度初めて全校で校歌を歌いました。会のはじめに、6年生と手をつないだ1年生が入場すると大きな拍手が起こり温かな雰囲気に包まれました。入場する1年生のうれしそうな笑顔が印象的な場面でした。それとともに笑顔に包まれた2年生

から6年生の子どもたちも新しい仲間を迎えた喜びとともに、自分たちが一学年上がったことに対する期待の表れだったのではないかと思います。今年度は、全校児童624名でスタートを切りました。

さて、この時期になると私は一つの詩を思い出します。それは、3年生の教科書のとびら詩になっているこの詩です。

この詩は まど・みちおさんの作品です。まど・みちおさんの詩は心が温くなる詩が多くあります。この詩も今の子どもたちの様子や心情、今の季節の情景が目浮かび、心が温くなる気がします。子どもたちは「わかば」であり、これから育っていく存在です。我々は「わかば」を見まもっていく存在です。一方で、子どもたちの成長していく様子を見てみると、私は晴れ晴れした気持ちになります。子どもたちは私たちにとってかけがえのない存在です。この子どもたちを見まもり、育てていくことを保護者の皆さん、地域の皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

わかば  
わかばを見ると  
むねが晴れ晴れする。  
ぼくら子どももほんとは  
人間のわかば。  
天が、ほら。  
あんなに晴れ晴れしている。  
ぼくらを見まもって……。